

B・C・S ネットワーク

大宮中学校区 保・小・中学校連絡だより

第150号

2014年2月5日発行

小中校種間連携授業～B・C・S～



11月27日から29日まで3小学校（大宮西小・生江小・城北小）で、中学の先生が訪問し、出前授業を行いました。小学6年生が中学の授業はどんなものかを体験し、中学に上がる時の不安を取り除くこ

とを目的に行いました。27日は大宮西小で、国語と理科の体験授業を行いました。緊張した面持ちでみんな授業を受け、国語では古典のかなづか

いについて、理科では血液についての勉強をしました。しっかりとどのクラスも受けていました。28日は生江小で英語と家庭科の授業を受けま

した。英語はアルファベットの勉強でしっかり声が出ていました。家庭科は食物についての分類を行い、ふだん食べるものについて勉強しました。29日は大宮西小で数学と美術の勉強をしました。数学は数字のプラスマイナスについてトランプを使い、理解しました。美術は

ペットボトルに入った3色の絵の具で、色の配合を行い、さまざまな色ができることを学びました。どの学校も興味関心をもって取り組んでいました。



みんなであそぼうパート2～生江保育所～

12月7日土曜日に「みんなであそぼうパート2」が行われました。3歳から5歳までの子どもたちが劇や楽器演奏や歌を歌ったりしました。3歳児が行った『きょうはどんな日』では、「おうちで何でおこられたの」「おもちゃだしっぱなしにしてん」「早く寝えへんかってん」といったやりとりがあったりと、子どもたちが家や保育所での生活を劇にし表現していました。また5歳児の『うえへまいりまゐす』ではお友だちのいいところを見つけて

順番に言っていくということをしていました。子どもたちが言いやすいように、先生が引き出していました。後になると、子どもたちの方からおはなしが出てきていました。





また、タンバリン・すず・カスタネット・トライアングルをもって、みんなで呼吸をあわせながらたたいていたところによかったと思いました。最後には先生からの劇もあり、子どもたちが先生の劇をよく見ているのが印象的でした。

だんぢり／車いす体験

～生江小学校～

1月29日に3年と4年にゲストティーチャーに来ていただきました。3年生にはだんぢりのお話を光生園館長の方さんに、4年生には車いすの体験や「障がい」についてのお話を元車いすバスケット日本代表の根木さんにお話しいただきました。

方さんからは、まず、生江だんぢりの歴史について写真を用いて説明していただきました。そして、龍踊りの踊り方を教えてもらい、リズムに合わせて一緒に踊る体験をしました。「形も大切だけど、どうやってカッコよく踊れるかが大事。」と動きをていねい教えていただき、子どもたちも見よう見まねで練習していました。

質問タイムでは、「だんぢりや祭りでは、地域の方の喜ぶ姿や子どもたちの笑顔を見ることがとても嬉しい瞬間です。」とお話しいただきました。子どもたちは、メモを取りながら方さんのお話をしっかり聞いていました。

4年生は、リレーをしたり、バスケットをしたりと楽しみながら車いすを体験することができました。子どもたちは初めて乗るスポーツ用車いすに非常に興味を持ち、根木さんのお話を食い入るように聞いていました。「障がいを作ってしまうのもみんなだし、取り除くことができるのもみんなです。」とお話しいただき、4年生にとって、あらためて「障がいとはなにか」を考えるいいきっかけになりました。

お二人と子どもたちの出会いや交流を見て、あらためて人が出会い、つながることの大切さを実感しました。直接話し、ふれあうことは多くの学びにつながります。これからも子どもたちがいろんな人と出会う機会を設け、豊かな心を育んでいきたいと思います。



城北小学校・赤川幼稚園 合同避難訓練

1月10日（金）に、地震・津波を想定した避難訓練を行いました。今年度は、赤川幼稚園と合同で行うことになりました。赤川幼稚園からは園児・職員あわせて183名が避難してきました。

小学校の運動場に1次避難を行った後に、校舎内へ2次避難を行いました。校長先生の指示に従い、低学年と園児から避難を開始しました。園児達が3階までがんばって階段を登っている姿がとても印象的でした。

合同で行うのは初めての取り組みということもあり、「やってみてわかったこと、気づいたこと」もありましたが、比較的スムーズに行うことができました。今後、幼稚園だけではなく、地域の方々と合同の避難訓練なども実施できたらと考えています。



「いいとも祭」で進路を応援！～大宮中学校～

12月5日（木）5限に「いいとも祭」を、全学年で行いました。「いいとも祭」は障がいのある仲間と「いいともだち！」と障がいのある仲間と一緒に高校へ行って「いいとも！」という2つの意味が合わさっています。この日は3年生の障がいのある友だちがみんなの前で自分の進路に対する思いを伝え、その決意をしっかりと友だちや全校生徒と共有する日でもあります。



今年は4人の障がいのある仲間が思いを、22人の同学年の友だち応援団と共に伝えて

くれました。全校生徒の前ですごく緊張して、なかなか声を出すまでに時間がかかったこともありましたが、友だちのサポートで全員が最後まで話をすることができました。発表後に彼らは「すごく緊張して途中でわからなくなったけど、友だちが横で応援してくれたので力強かったです」などやりきった表情で伝えてくれました。全校生徒もそんな3年生の温かい思いを、静かに聞き入っていました。会場の体育館に来られていた、決意表明をした仲間の保護者の方は「まわりの友だちがこんなに応援してくれてとても嬉しいです。感謝しています。素晴らしいです」と話していただきました。



この3年間で障がいのある仲間と共に学ぶ中で多くのことを共に学んだと思います。時には思いが分からずにケンカしたりしましたが、多くの取り組みや日常生活の中でお互いにわかりあえてきたのではないかと思います。今ではごく自然にサポートができるようになり、いい関係の中で卒業に向けて日々の学校生活を送っています。「いいとも祭」を通じて、みんなで確かめ合ったそれぞれの進路をつかむために

今、全員が頑張っています。みんなで頑張りぬきましょう！！

全校かけあし ～大宮西小～

2学期の11月下旬～12月中旬、20分休憩の時間に全校児童全員で走る全校かけあしを実施しました。

1年生が内側、2・3年生が真ん中、4～6年生が外側のトラックを走ります。はじめはクラスで速さをそろえて走り、音楽がかわると自分のペースで走ります。



低学年は途中で休憩をはさんで走り続けます。一方、高学年は音楽の流れている7分間ずっと走り続けます。そのため、同じ速さで走り続けるように工夫しながら走っていました。

かけあしが終わった後、教室に戻って何周走ったかをカードに記入しました。どの子どもカードにぬる色が増えていくのを見てとても喜んでいました。中には、カード全部に色がぬれるように、昼休みなども自主的に走っている子もいました。

今年度は雨天が続いて、全校かけあしができたのは6回だけでしたが、健康な体づくり・体力向上の一環とした取り組みができました。